

Information News 第180号

いつも大変お世話になっております。ハウス食品分析テクノサービスでございます。

2021年8月28日～2021年9月3日の期間に発表された、食品に関連する話題を各省庁Webサイトより抜粋し、お届け致します。

バックナンバーは、弊社ホームページにも掲載しております。

<https://food-analab.jp/news/index.html>

<厚生労働省>

・「食品企業どうしの連携」をテーマにオンラインミーティング開催 「荷主どうし」の共同配送に興味のある荷主企業の参加を募集します（期間：9月1日（水）～9月30日（木））

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_20698.html

・輸入食品に対する検査命令の実施

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_20836.html

・薬生食輸発0902第1号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（ネパール産そばのアフラトキシン）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000826640.pdf>

⇒ネパール産そばからアフラトキシン（カビ毒）が検出され、検査命令となっています。

・薬生食輸発0902第3号「令和3年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（エクアドル産バナナのピリプロキシフェン、韓国産青とうがらしのプロピコナゾール、ガーナ産カカオ豆のシペルメトリン及び中国産まつたけのアセトクロール）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000826642.pdf>

⇒以下の農水産物で検査頻度が変更となっています。

- ・エクアドル産バナナのピリプロキシフェン（農薬）：30%⇒通常（緩和）
- ・韓国産青とうがらしのプロピコナゾール（農薬）：30%⇒通常（緩和）
- ・ガーナ産カカオ豆のシペルメトリン（農薬）：30%⇒通常（緩和）
- ・中国産まつたけのアセトクロール（農薬）：30%⇒通常（緩和）

・薬生食輸発0830第1号「ナチュラルチーズに係る輸入時検査の強化について（一部改正）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000825234.pdf>

⇒検査命令となっているイタリア産ナチュラルチーズのリステリア・モノサイトゲネス（食中毒菌）で、検査命令対象製造者が拡大されました。

・薬生食監発0831第2号「月齢制限の廃止に伴うデンマークから輸入される牛肉等の取扱いについて」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000825695.pdf>

・生食発0831第2号「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000825786.pdf>

⇒カスガマイシン、クロルピクリン、バリダマイシン、フェンプロパトリン、プロクロラズ、1-メチルシクロプロペン（以上農薬）、酢酸トレンボロン（動物用医薬品）、ジブチルヒドロキシトルエン（飼料添加物）について、食品中の残留基準値が改正されました。

また、一部の食品において「不検出」と設定されている酢酸トレンボロンの残留基準値に係る改正に伴い、規格基準告示に規定されていた既存の α -トレンボロン及び β -トレンボロン試験法を削除し、同一内容の試験法を酢酸トレンボロン試験法として定める等の所要の改正が行われました。

・生食発0831第12号「清涼飲料水等の規格基準の一部改正に係る試験法について」の一部改正について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000825787.pdf>

⇒清涼飲料水において、一斉試験法の項にミネラルウォーター類中のクロロ酢酸、ジクロロ酢酸及びトリクロロ酢酸の試験法が、個別試験法の項にミネラルウォーター類中の六価クロムの試験法が追加されました。

・生食発0831第18号「清涼飲料水等の規格基準の一部改正に係る試験法について」の一部改正について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000825788.pdf>

⇒妥当性確認ガイドラインの分析対象物質として、アンチモン、六価クロム、モノクロロ酢酸、ジクロロ酢酸、及びトリクロロ酢酸が追加されました。

・薬生食監発0901第1号「乳及び乳製品の衛生証明書の取扱いについて（一部改正）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000826467.pdf>

・「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件（案）」（農薬等（MCPA等48目）の残留基準の改正及びゲンチアナバイオレット試験法の設定）に関する御意見の募集について

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Servlet?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495210202&Mode=0>

⇒以下の農薬等48品目について、残留基準が改正される見込みです。また、ゲンチアナバイオレット（動物用医薬品）の試験法が新たに設定される見込みです。

【1】農薬MCPA 【2】農薬MCPB 【3】農薬アシノナピル 【4】農薬アミスルブロム 【5】農薬アメトクトラジン 【6】農薬イマザピル 【7】農薬及び動物用医薬品エトキサゾール 【8】農薬オキサチアピプロリン 【9】農薬カスカマイシン 【10】農薬グリホサート 【11】農薬クロラントラニプロール 【12】農薬クロルフルアズロン 【13】動物用医薬品ゲンチアナバイオレット 【14】農薬シアゾファミド

【15】農薬シエノピラフェン 【16】農薬シクラニプロール 【17】農薬2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 【18】農薬シフルフェナミド 【19】農薬及び動物用医薬品ジフルベンズロン 【20】農薬シフルメトフェン

【21】農薬ジメテナミド 【22】農薬スピネトラム 【23】農薬及び動物用医薬品スピノサド 【24】農薬ソキサミド 【25】農薬テトラニプロール 【26】農薬ピカルブトラゾクス 【27】農薬ピラジフルミド 【28】農薬ピリオフェノン 【29】農薬ピロキサスルホン 【30】農薬フェンピコキサミド 【31】農薬フェンヘキサミド 【32】農薬フルオキサストロピン 【33】農薬フルキサメタミド 【34】農薬フルチアニル 【35】農薬フルトラニル 【36】農薬プロフラニリド 【37】農薬プロヘキサジオンカルシウム塩 【38】農薬ヘキシチアゾクス 【39】農薬ベンゾピンジフルピル 【40】農薬ベンチアバリカルブイソプロピル 【41】農薬ホスチアゼート 【42】農薬マンジプロパミド 【43】農薬マンデストロピン 【44】農薬メソトリオン 【45】農薬メタフルミゾン 【46】農薬メチルテトラプロール 【47】農薬メトラフェノン 【48】農薬メフェントリフルコナゾール

<農林水産省>

・野菜の生育状況及び価格見通し（令和3年9月）について

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/engei/210831.html>

⇒指定野菜14種（消費量が多く、国民生活にとって重要な野菜として野菜生産出荷安定法で定められた野菜：ダイコン、ニンジン、ハクサイ、キャベツ、ホウレンソウ、ネギ、レタス、キュウリ、ナス、トマト、ピーマン、ジャガイモ、サトイモ、タマネギ）のうち、**キャベツの価格が安めで、にんじん、ほうれんそう、きゅうり、なす、ばれいしょの価格が高めで、**それぞれ推移する見込みです。

<消費者庁>

・10月食品ロス削減月間ポスターを公表しました。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/#OCT-month

⇒10月は、食品ロス削減月間です。消費者庁、農林水産省、環境省では、食品ロス削減月間のポスターを作成しました。どなたでもご自由にダウンロードしてご使用可能です。ポスターはこちら↓

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/assets/Oct-Nofoodloss-Month.pdf

<厚生労働省HP掲載の回収情報>

品質	13件	(変敗10, 膨張2, 販売温度帯ミス1)
アレルギー	10件	
消費/賞味期限	4件	
微生物 性)	2件	(ラー油: 一般生菌数超過, のむヨーグルト: 大腸菌群陽)
異物	1件	(羊羹: 排気ダクトの塗装片)
	計30件	

★★弊社HPの分析項目アクセスランキング★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

	1位	2位	3位	4位	5位
8/29-	残農/動薬	異物	官能/物性	栄養/機能	アレルギー
8/22-	残農/動薬	官能/物性	異物	DNA分析	栄養/機能
8/15-	残農/動薬	異物	官能/物性	栄養/機能	アレルギー

↓異物混入・クレーム品の検査ページはこちらです↓
<https://food-analab.jp/service/contamination.html>

★★

※本メールは、過去に弊社にご依頼を頂いたり、お名刺交換をさせていただいたお客様に配信しております。本メルマガがご不要のお客様は、ご一報いただけましたら、次回より配信を停止致します。
 ※万一、お客様のご所属・ご氏名に誤りがございましたらご一報下さい。速やかに修正致します。
 ※お客様から頂戴した個人情報、本メールマガジンのほか、DM、キャンペーン案内、アンケート等の送付に利用させていただく場合がございます。

株式会社ハウス食品分析テクノサービス
 インフォメーションニュース担当
 Mail: info2@food-analab.co.jp

〒284-0033千葉県四街道市鷹の台1丁目4番
 TEL:043-237-5676 FAX:043-237-2912
 URL:<https://food-analab.jp/>

